

DoboX のデータ利活用に関する取組について

1 要旨・目的

公共土木施設等に関する情報の一元化・オープンデータ化を可能とするシステム基盤であるインフラマネジメント基盤（DoboX）のデータ利活用に関する今年度の取組について報告する。

2 現状・背景

県民の安全・安心、利便性の向上など、広島デジフラ構想に掲げる目指す姿の実現に向け、DoboX のオープンデータ拡充を図るとともに、デジタル人材の育成や、民間事業者等による新たなサービス・付加価値の創出に向け、令和5年度から、データ利活用による地域課題解決に有効なアプリケーション等を募集するコンテストの開催などの取組を進めている。

3 令和7年度の取組概要

（1）DoboX データチャレンジコンテストの開催

DoboX のデータ等を活用し、地域課題の解決に有効なアプリケーションやアイデアなどの優秀作品を選考するコンテストを開催することとしており、その作品募集を9月16日(火)から開始する。

また、開催にあたっては、全国規模のデータ利活用コンテストを行っている（一社）社会基盤情報流通推進協議会と共催し、DoboX のPR と利活用につなげる。

（2）ハッカソンイベントの開催

コンテストの作品の募集開始に先立ち、プログラミング経験の少ない方でも気軽に応募できるようアプリケーションの開発等を支援するハッカソンイベント（DoboX×PLATEAU Hack Challenge 2025 in 広島）を9月13日(土)、14日(日)に開催する。

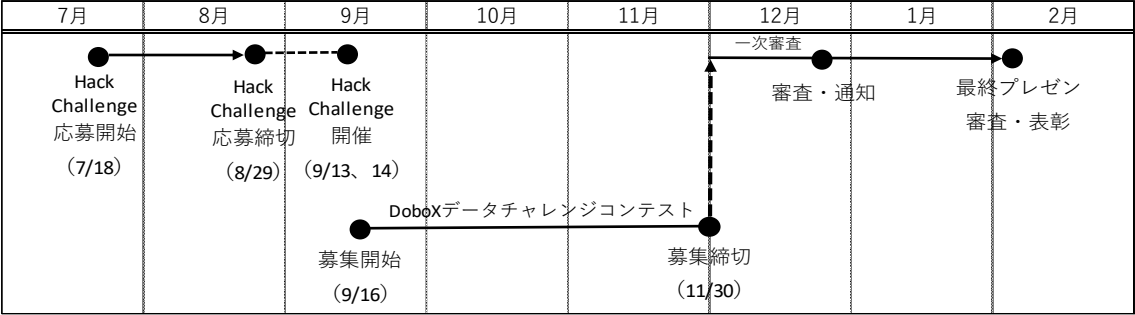
このイベントでは、都市デジタルツインの実装プロジェクト「PLATEAU」を推進する国土交通省と連携し、防災、まちづくり、交通などの地域課題をテーマに参加者と県職員が協働して課題解決に取り組む。（応募方法などの詳細は別紙参照）

（3）大学等や民間事業者と連携した取組

大学等と連携し、県が地域課題やデータなどの情報提供を行ったうえで、学生が課題解決に向けたアイデアやアプリケーションの開発等を行う講義を実施する。令和5年度から県立広島大学、昨年度から広島工業大学、福山大学、呉工業高等専門学校において同様の取組を展開し、今年度は新たに広島大学においても実施予定である。

また、民間事業者と連携したアイデアソンの開催も予定しており、こうした取組を通じて、次世代を担うデジタル人材の育成につなげる。

4 今後のスケジュール



DoboX×PLATEAU Hack Challenge 2025 in 広島

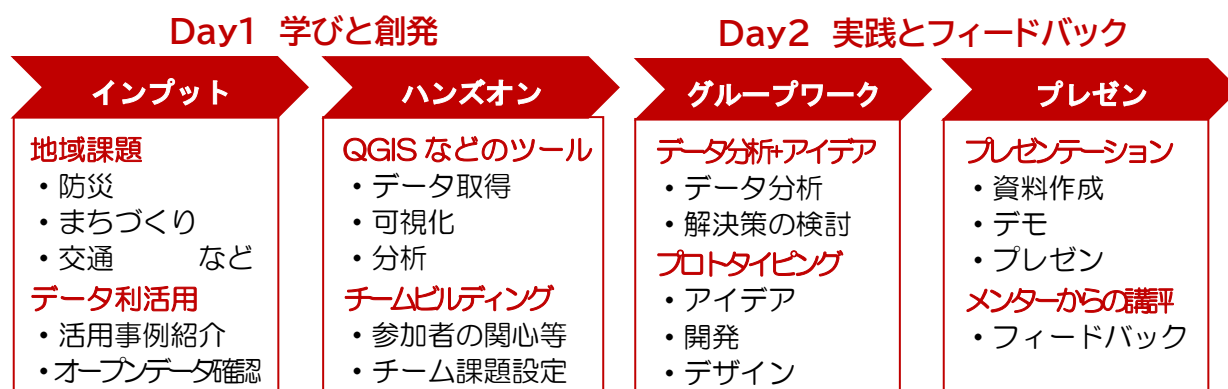
2025.9.13 Sat-14 Sun 開催

広島の未来をデザインし提案する、2日間の集中ワークショップ

「DoboX×PLATEAU Hack Challenge 2025 in 広島」は、DoboX のオープンデータなどを使って、アプリケーションやサービスを開発するハッカソンイベントであり、防災、まちづくり、交通などをテーマに、参加者と県職員が協働し、地域が抱える課題解決に取り組みます。

このイベントは、全国規模のデータコンテスト「アーバンデータチャレンジ」を開催している（一社）社会基盤情報流通推進協議会と、都市デジタルツインの実装プロジェクト「PLATEAU」を推進する国土交通省から派遣された IT エンジニアなどのメンター（指導者）が、開発支援を行うため、プログラミングなどの経験がない方でも気軽に参加できます。

1 イベントの流れ（予定）



2 参加対象

県内外問わず、参加可能

3 開催場所

広島大学 東千田キャンパス
（広島市中区東千田町一丁目 1 番 89 号）

4 定 員

最大 50 名（応募者多数の場合は先着順）

5 申込方法

特設サイトから申込してください。
URL : <https://dobox-data-challenge.jp/>

6 申込〆切

2025 年 8 月 29 日（金）〆切

7 その他

イベントで作成したアプリケーションなどの作品は、本県が開催予定の DoboX データチャレンジコンテストなど、様々なデータコンテストに応募することができます。